



英知
誠実
健康

学校だより

若鷹

尾張旭市立旭中学校

平成29年度6月号

目玉おやじは見ている

「自尊」「自信」の話

校長 水野 茂

2年生の野外活動、3年生の修学旅行、そして1年生の校外学習が終わりました。どの学年も「時間を守ること」を、みんながしっかり意識して行動できていたこと、本当に感心しています。時間を守ることのほかにも、「いいなあ」となるような姿がきつとたくさんあったことでしょう。先生たちもうれしかったです。それで、終わればよかったです。2年生、3年生とも、不要物を持って行ってしまった等の話が後から聞こえてきて、残念でしかたありません。

ある本の中で「そのとおりだな」と思った「目玉おやじ」の話です。みんなの中に、こんな経験をしたことがある人、いるのでは？ 何か人のものを盗ってしまった。そこまではいなくても、何かズルをしてしまった。練習をさぼったり、手を抜いたりした。うそでごまかしてしまった。「親にも、先生にも、誰にもバレなかった。うまくいった・・・」って思った経験。それって、本当に誰にもバレてなかったか。ちがいますね。一人見ていたひとがいるよね。そう、自分はしっかり見ている、しかも忘れていない。自分の中に、「する自分」を見ている「もうひとりの自分」がいます。その「見ている自分」が「目玉おやじ」らしいです。

この目玉おやじは、みんながすることを全部見ているし、記憶力も抜群。だから、ズルしたことをずっと覚えている。しかも、この目玉おやじは、すごい力をもっているらしい。みんなの将来の夢、目玉おやじは、その夢の実現を助けてもくれるし、すごい力で邪魔もするらしい。たとえば、この打席でヒット打てば県大会、このシュートを入れれば勝てる、この演奏がうまくできれば…っていうとき、もしその人がずるいことや、卑怯なことばかりしてきたのなら、目玉おやじは厳しく、「お前なんか失敗しろ、あんなにズルをしてきただろ」となり、失敗する。でも、いつもがんばっている人、がんばってもなかなかうまくいかない人には優しく、「お前は、いつも正直にがんばっているよね」って大きな力を貸してくれる存在でもあるらしいです。目玉おやじに「お前はよくやってるよ」と言われれば、「目玉おやじに叱られるようなことはしてこなかった。だから、結果は結果、思いっきりやろう」となります。それが「自尊」であり、「自信」です。

「自尊」というのは、誰かに与えられるものでも、ひとと比較してもてるものでもありません。全くの自分の

生徒活躍情報

- 5月の児童館こどもまつりボランティアに、1年生1名、2年生4名、3年生2名が参加
- 7月の「あいち科学の甲子園Jr」に2年連続参加決定！
- オーストラリア研修、旭中より8名の参加が決定！
- 8月の「便教会」への応募者増えました！
- 夏休みの「サマーボランティア」。今年も計画しています！
- 夏まつり恒例の「水まき隊」にも是非！

内側でのことです。他人との比較などは入る余地はありません。目玉おやじに認められるような生き方をしていけば、誰もが自信をもてるものです。みんなには、自分の中にいる目玉おやじを意識し、問答をしながら「自尊」「自信」を身につけていってくれることを願います。目玉おやじのこと、心にとめておいてください。

※ 「一步を踏み出すための道徳」

(平光雄 著)より引用



集団・宿泊行事を終えて

自律できる生徒達が育っています

校外学習・野外活動・修学旅行が終わりました。どの学年とも、集団での決まりをよく守り、みんなで行事を楽しむことができたようです。（後から不要物の持ち込みが判明したことは残念でしたが・・・）

学校の教育目標である「自律」が生徒達の中で育っているのを感じます。集団の中で、自分がどのように行動すべきか考え、それを行動に移せる生徒が増えてきていることをうれしく思います。（下へつづく）



主体的に行動できる生徒に

よく指示を守り、自分を律しながら行動できる生徒が増えていることは素晴らしいことです。しかし、これに満足してはいけません。さらに「ひとのために、主体的に行動できる生徒」を育てていきます。学年の室長会、生徒会を活性化させ、自治的な集団をつかっていきたいと考えています。言われたことはできる集団から自分たちで考え行動できる集団へのレベルアップを図っていきます。

スクールボランティアに多くのご応募ありがとうございました。随時受け付けています。

地域での旭中生の姿、オオツという姿も残念な姿も、気づかれましたら学校までお知らせください。

旭中学校 53-2910（教頭 寺尾）

